

共同研究支援報告書

提出日	2022/4/28
氏名	大里 絢子
所属大学名	弘前大学大学院医学研究科
職位	助教
研究題目	自閉スペクトラム症超早期介入法のアジア向けプロトタイプの 作成及び効果研究
内容報告	<p>海外において効果が検証されている超早期介入法であるEarly Start Denver Model (ESDM)を、日本の現状に合わせて提供可能なプロトタイプを作成し効果検証を行うことを目的とするものである。</p> <p>社会性およびコミュニケーションに課題があり療育が必要な24ヶ月以上36か月未満の児をBayley3で測定された発達指数でESDM実施群、地域介入群に割付を行い、6か月の介入を行う。介入前後でBayley3、ADOS-2、CBCL、Vineland-II、PSI-C、SRS-2を用いて介入効果について評価する。共同研究者(大阪大学、金沢大学)とともに月1回のWEB会議を開催し、プロトコルの詳細を決定し、倫理審査委員会に申請する予定である。</p>
成果(論文発表等)	<p>プロトコルの決定を行った。現在は倫理審査委員会に申請する段階であり、委員会からの承認の後、リクルートを開始する。</p>